

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 健康推進課長 知念 希和 電話番号 0852-22-5248

事務事業の名称	医療費適正化対策費	
目的	(1) 対象	県民及び医療保険者
	(2) 意図	医療保険制度を持続可能なものとし、安心した生活を送ることを目的に県の医療費を適正化する。
事業概要	平成20年度から医療費の伸びを抑制する中長期施策として策定した島根県医療費適正化計画に基づき、外部の学識経験者等の意見を参考に施策の推進を図る。具体的には、医療費適正化計画を策定・進行管理・評価するため、各保険者等て構成する医療費適正化検討会を開催する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	医療費適正化検討会実施回数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	検討会実施回数	目標値		3.00	1.00	
			実績値	0.00	3.00	0.00	0.00		
			達成率		100.00	0.00	0.00		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
	目標値		0.00	0.00	0.00	0.00			
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00	0.00				
	達成率		0.00	0.00	0.00		%		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	239	354
うち一般財源(千円)	239	354

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 平成26年度は医療費適正化検討会自体は開催しなかった。
- 平成26年6月、医療費適正化検討会の構成員を含んだ島根県保険者協議会において、平成25年度末に行った第1期計画（H20～H24）の実績評価及び第2期計画の内容について説明し、意見交換を実施。
- 平成27年3月、島根県保険者協議会において、医療費適正化計画の見直しに関する情報を提供（参考）法改正により平成28年度より、医療費適正化計画を策定又は改定するときは保険者協議会に対して協議が必要となった。（高齢者の医療の確保に関する法律改正）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 医療費適正化検討会自体は開催していないが、検討会の構成員を含む既設置済の保険者協議会の場を活用し、各保険者の現状把握や意見交換を行うことができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 - 医療費適正化計画における各年度毎の評価等を行い、今後の施策に適切に反映させていくためには、様々な情報が必要となるが、現段階で不足している。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 - 国の方針や各保険者のデータ、詳細なデータ分析、効果検証結果の資料が不足している。
- ③原因を解消するための「課題」
 - 第3期医療費適正化計画については、大幅な見直しが予定されているが、その具体的な内容が不明
 - 各保険者のレセプト、特定健診等データをまとめることができていない
 - 各種データの分析が十分できていない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 医療費適正化計画の見直し内容、各種データ分析結果について情報収集し、適宜市町村、保険者協議会等に情報提供する。
- 各保険者のレセプトデータ、特定健診等データを統合する取り組みを本格的に推進する。
- 平成27年度から新たに専門職（保健師）を配置し、市町村との連携を一層図りながら、現状把握、データ分析等を実施。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）